

あなたのスタッドレスタイヤは本当に大丈夫?

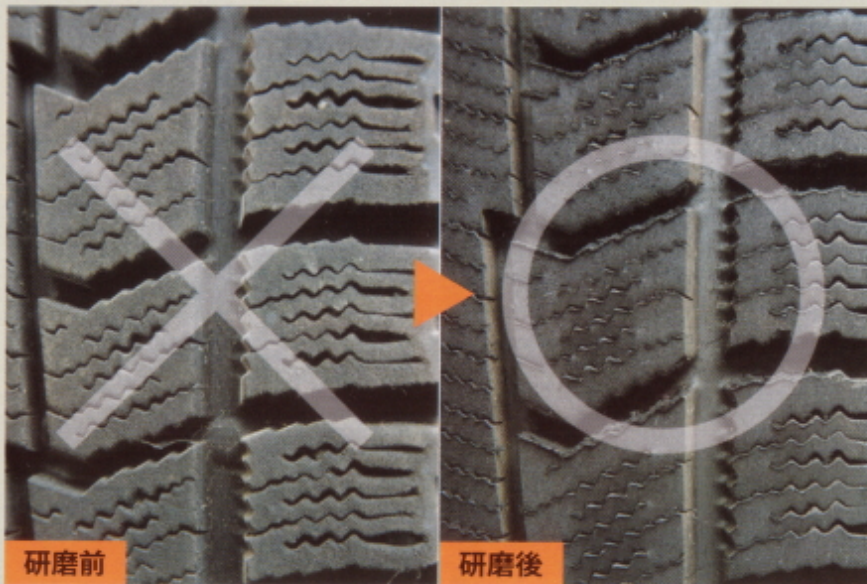
冬の最新お役立ち情報

本格的な冬到来。鏡のようなツルツル路面を不十分なスタッドレスタイヤで、どんなに気をつけて車を運転しても、もうお手上げ。そんなリスクを少しでも減らすためのタメになるお話のはじまり...

劣化・磨耗した表面を研磨することで、性能を回復・向上させる「けんま君」

「このスタッドレスタイヤは効が悪くなってきたような気がするな」という買い替えのサイン。でもちょっと待って!!多くはタイヤのゴムの表面が劣化や磨耗していることが原因のハズ。「じゃ～表面を削ればいいんじゃない?」と気が付いた、いや～みんな気が付いていたのかもしれない。旭川で全国初、それを実現させた会社がある。「(有)エー・アイ・エス」。劣化・磨耗したタイヤの、その表面を研磨し、新しい断面を露出させることによってグリップ力を回復させるタイヤ再生研磨加工機、その名も「けんま君」なる機械を開発した。もとはと言えば「(有)エー・アイ・エス」の代表取締役／松井氏が、冬道で滑るようになったスタッドレスタイヤを履きつづつつもりで使っているときに、そのタイヤにふと目をやったところ、こんな疑問を感じた。「ほとんど磨り減っていないのに、どうしてタイヤを交換しなければいけないんだろうか?」

確かに通常、摩擦抵抗が少ない雪道で使用しているスタッドレスタイヤが、摩擦抵抗の大きいアスファルトの上で使用すると夏タイヤのように、目に見えるほどゴムが減るということは少ない。しかし年数を追うことに効が悪くなっていくのも事実。そこで「その原因がタイヤの表面が劣化して、滑りやすくなっているのであれば、表面を削ればいいんじゃないか?」と考えたことが、この「けんま君」を開発することになるきっかけとなった。その「けんま君」とは…?

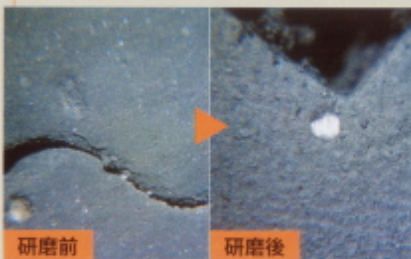


研磨前

研磨後

B社中古

研磨前 비해研磨後の表面が粗くなっているのがよくわかる。この粗さがグリップ力の源。新品のようにキレイな表面がいいと思うのはまちがいで。



研磨前

研磨後

T社中古



研磨前

研磨後

B社

左/1年使用後 右/新品を研磨後200km走行



想像より以外とコンパクトな「けんま君」。その幅1.2mの小さなボディで、タイヤの性能を存分に引き出してくる。



下に見えているのが帯状のサンドペーパー。これと上部のタイヤが回転しながら擦れ合うことで研磨する。

原理は驚くほどシンプル。簡単に説明すると、高速で回転するベルト状のサンドペーパーに低速で回転させたタイヤを押し付けるとのこと。その時間は軽自動車サイズであれば、1本あたりおよそ1分。大型タイヤでも3～4分＝脱着を含めると4本で10分～15分ほどという早さ。「物」と「物」が擦れるとき相手の性質にならう原理を利用したこの「けんま君」を使用することによって、タイヤの表面をわずかに研磨(約0.3mm)し、いびつになった表面を修正・適度な粗さを与えることでグリップ性能を回復・向上させることができるのである(公的機関立証済み)。また、よく聞くのは「新品スタッドレスタイヤは、本来の性能を十分に発揮させるための表面を露出させるために、アスファルトの上でならし(削る)走行しないとイケない」という話(産業技術総合研究所の研究によると乾燥路面で約300km以上のならし走行が必要)。雪が降る前であればそれも可能だが、雪が降ってから新品スタッドレスタイヤが必要になる場合もあるはず。しかも旭川は北海道でも有数の豪雪地帯。このような状況下ではならし走行をする機会や場

所はほぼ皆無だったのが、この「けんま君」によってならし走行をしたのと同様の効果があることになる。ただし勘違いしてはいけないのが、たとえば5年の寿命のタイヤを10年使えるということではないこと。5年ならば5年の範囲で積極的に研磨することによって、常にタイヤを最良のコンディションで使用するという考えである。これから本格的な冬シーズンに突入する。タイヤは車の安全面で非常に重要な役割を持っているのは周知の事実。新品・使用中に関わらず、一度「けんま君」を利用することをおすすめする。

「けんま君」旭川導入第1号店
 「(株)オカモト オートレット旭川」
 旭川市末広東1条6丁目1-6 TEL:0166-50-3323
 料金(脱着料込)
 14インチまで通常6,300円のところ4,200円(税込)
 15インチ以上通常7,350円のところ5,250円(税込)

「けんま君」導入に関するお問い合わせ
 「(有)エー・アイ・エス」
 旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 TEL:0166-60-5677
 「けんま君」ホームページ <http://ais1.jp/>